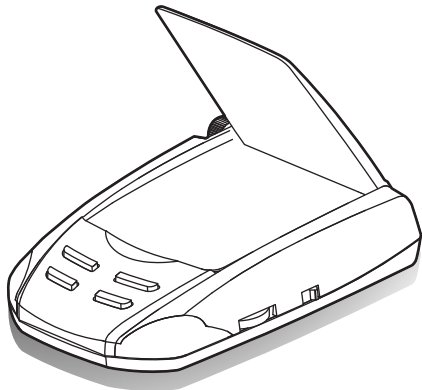


Best One
ソーラーリーダー

BF-310SRV

取扱説明書
保証書

この度はベストワンシリーズリーダー探知機をお買い求めいただきまして誠にありがとうございます。本書には取付け及び操作手順が説明されております。正しくご使用いただく為に本書をよくお読みのうえ、ご使用ください。尚、読み終えた後いつでも見られるよう大切に保管してください。



	ページ
・ご使用上の注意	2
・おもな特長	5
・各部の名称	6
・ご使用にあたって	8
・使用初期の充電	9
・リーダー受信機の取付け方法	10
・使用方法（各スイッチの設定方法）	14
・使用方法（その他機能用語説明について）	21
・本機の受信方法	22
・リーダーまめ知識	30
・故障かな？と思ったら	34
・ディスプレイモード	35
・仕様	36
・メモ	37
・保証書	39

ご使用上の注意

ご使用の前に、この「ご使用上の注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。また、注意事項には危害や損害の大きさを明確にする為に誤った取扱いをすると、生じる事が想定される内容を「警告」・「注意」の2つに分けています。



警告

警告を無視した取扱いをすると、使用者が死亡や重傷を負う原因となります。



注意

注意を無視した取扱いをすると、使用者が傷害や物的損害を被る可能性があります。



警告

- 本製品を分解、改造しないでください。火災、感電、故障の原因となります。
- 運転中は、本製品を絶対に操作しないでください。わき見運転は、事故の原因となります。
- 本製品は、運転や視界の妨げにならない場所に取付けてください。又、自動車の機能（エアバック等）の妨げにならない場所に取付けてください。事故や怪我の原因となります。
- 本製品が万一破損・故障した場合は、すぐに使用を中止して販売店へ点検・修理を依頼してください。そのまま使用すると火災・感電・車の故障の原因となります。
- 本製品を水につけたり、水をかけたりしないでください。火災・感電・故障の原因となります。
- 本製品を医療機器の近くで使用しないでください。電波により医療機器に影響を与える恐れがあります。
- 外車などキーオフ時でも常時12Vがシガープラグに出力される車種はバッテリー上がりの可能性がありますのでシガープラグを抜いてご使用ください。

ご使用上の注意 つづき

注意

- 本製品にはお買い上げの日から1年間の保証がついています。（ただし、内蔵のニッケル水素電池等の消耗品は保証の対象になりません）
- 万一、製品本体にロット番号シールがない場合は、商品をご使用になる前に弊社へご連絡ください。
- 保証書には、必ず「販売店名」「お買い上げ日」が記入されているか、記載の内容をご確認いただき、大切に保管してください。
- 本製品は、仕様書に記載されている受信周波数のみ有効で光電管式、ループコイル式・ワイヤ一式等、他の方式による速度取締機には反応しません。
- 取締りレーダーと同一周波数のマイクロ波を使用した機器（下記）周辺で、レーダー受信機が受信することがありますが、これは誤作動ではありません。あらかじめご了承ください。（自動ドア・防犯センサー・車両通過計測器・気象用レーダー・航空用レーダー）
- 一部のナビゲーションシステムなどの電装品装着車において、それら機器からの漏れ電波により、レーダー受信機が誤作動する場合があります。
- 太陽電池の発電量は使用環境（気象条件・駐停車中の日照状況等）の影響を受け易く、通常状態よりはやく電池が消耗する事があります。シガープラグからの併用充電を行ってください。
- 本製品を取付けての違法行為（スピード違反等）に関しては、弊社では一切の責任を負いかねます。
- 本製品の仕様及び外観は改良の為、予告なく変更する事があります。ご了承ください。
- 断熱ガラス（金属コーティング・金属粉入り等）、ミラー式フィルム装着車の場合はレーダー波が受信できない場合があります。
- 本製品の故障による代替品の貸出、取付・取外工賃の保証は一切行っておりません。

おもな特長

- ソーラーパネル可動式により、サンバイザーへの取付可能
- 9バンド受信対応
- ステルス対応（P31参照）/新Hシステム対応（P32参照）
- レーダー受信感度（LOW・HI・SUPER-HI・HYPER）4段階切替え
- LSC-V（ロー・スピード・キャンセル）機能
- ASC-V（オート・センシティブ・コントロール）機能
- オートボリュームダウン機能
- ローバッテリー機能&バッテリーチェック機能
- ミュート機能
- ダッシュボード取付け可能ステー

各部の名称 (製品本体)

本体

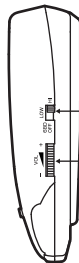
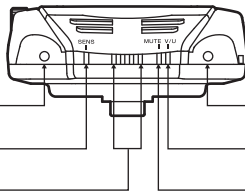
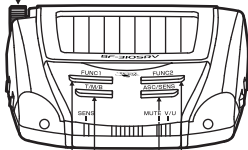
電源・アラーム (ブザー/メロディー)
切替えスイッチ (P14)

LSC-Vスイッチ
(P15)

ファンクション1 [FUNC1]スイッチ
(P18)
テスト/ミュート/バッテリーチェック
[T/M/B]スイッチ (P16)

コーナーランプ
(赤) (P28)
電源/受信感度 [SENS]ランプ
(P20)
レベルメーターランプ (緑)
(P17,18,19,28,29)

パネル調整ネジ



VHF/UHF受信設定
スイッチ (P22)

音量ボリューム
(P16)

ファンクション2 [FUNC2]スイッチ
(P19)
受信感度切替え [ASC/SENS]スイッチ
(P20)

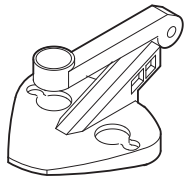
コーナーランプ
(赤) (P28)
VHF/UHF受信感度 [V/U]ランプ
(P29)
ミュート [MUTE]ランプ (赤)
(P17)

左から 1灯、2灯、3灯、4灯となります。

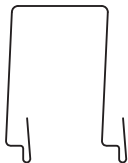
各部の名称 (製品本体)

各部の名称 (梱包内容)

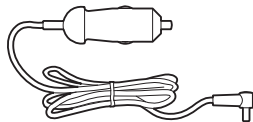
付属品



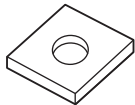
ジョイントステー
(1個)



サンバイザーステー
(1個)



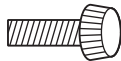
12V専用シガープラグ
(1個)



バイザークッションシート
(1個)



両面テープ
(1枚)



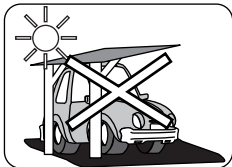
ステー止めネジ
(1個)

各部の名称 (梱包内容)

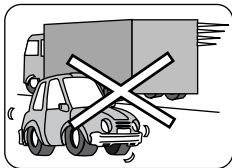
ご使用にあたって

本製品の回路設計にあたっては、通常の使用状況において太陽電池の発電量と回路消費電力のバランスがとれるようになっていますが下記のような場合、発電量が不足し充電サインが表示されることがあります。もしこのような症状が現れた場合は付属のシガープラグを使用して定期的に充電してください。

屋内駐車場・ガレージ等、太陽光の直接当たらない場所へ長時間駐車される場合。



高速道路・交通量の多い道路脇・鉄道の線路脇等、絶えず振動を受けて動作状態になる場合。



冬季・梅雨時等、曇りの日が続き日照時間が少なくなる場合。又はUVカットガラスの場合、充電効率が悪くなります。



夜間走行の頻度が多い場合。



使用初期の充電

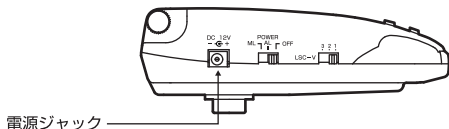
まず、最初に**充電**を行ってください。

出荷時には、検査用予備充電しかされておりません

長い間、本体を使用せず放置しておりますと内蔵電池が自然放電します。
当社専用シガープラグコード（12V）を使用し、エンジンをかけて充電してください。
一旦シガープラグコードを抜いてバッテリーチェックスイッチ（P17）を押してレベルメーターランプが"充電良好"表示になれば、充電完了です。

（電源スイッチは、ON/OFFどちらでも充電できます。）

※充電時間は、連続充電で約4時間必要です。（目安）



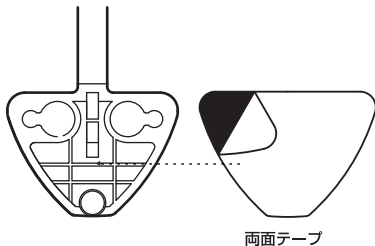
⚠ 注意

使用状況・使用環境にもよりますが、おおむね2～3年が目安となります。内蔵電池の寿命に満たない前に内蔵電池の容量が低下する事（メモリー効果）がありますが、その場合は一度完全放電させてから満充電にすると、性能がもどる場合があります。また、内蔵電池はリサイクル可能なニッケル水素電池ですので交換の際は弊社サービス部までご連絡ください。外車などキーオフ時でも常時12Vがシガープラグに出力される車種はバッテリー上がりの可能性がありますのでシガープラグを抜いてご使用ください。

レーダー受信機の取付け方法

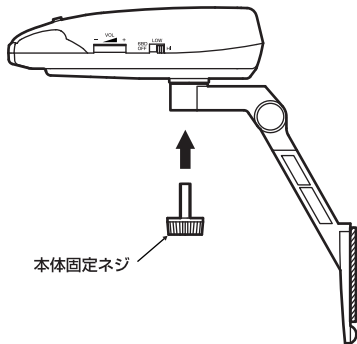
ダッシュボードへの取付け

- 1** ステアに両面テープを取付けます。



(ステアを取付ける前にダッシュボード上の
汚れをきれいに拭き取って下さい。)

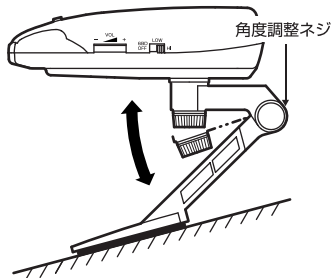
- 2** レーダー受信機本体をステアに取付け
ます。



レーダー受信機の取付け方法

ダッシュボードへの取付け

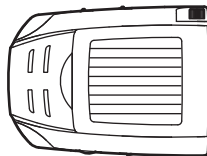
- 3** ダッシュボード上に固定します。
レーダー受信機が地面と平行になるように角度調整後、角度調整ネジを手でしっかり締めます。



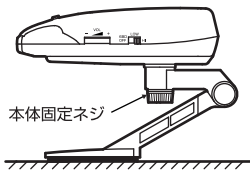
警告

エアバックの飛び出し場所等、運転や視界の妨げにならない場所に取付けしてください。
誤った場所への取付けは、事故の原因となります。

- 4** レーダー受信部が、進行方向に向くように、調整した後、本体固定ネジをしっかりと締めます。



上から見た図

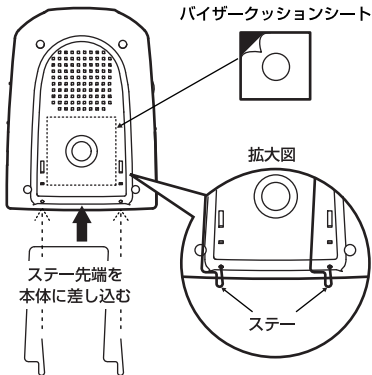


レーダー受信機の
取付け方法

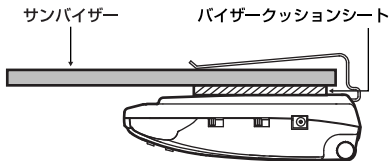
レーダー受信機の取付け方法

サンバイザーへの取付け

- 1** 本体にバイザーステーを差し込みます。バイザークッションシートの剥離紙をめくり、本体ケース下の下図点線部に貼付けます。



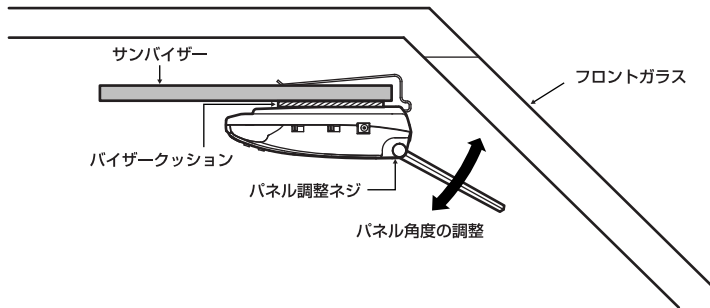
- 2** サンバイザーに本体とステーを挟み込みます。



レーザー受信機の実付け方法

サンバイザーへの実付け

- 3** パネル調整ネジを軽く緩めて、ソーラーパネルの角度を調整後、確実にパネル調整ネジを締め付けます。

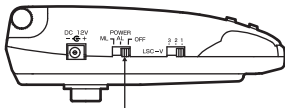


使用方法（各スイッチの設定方法）

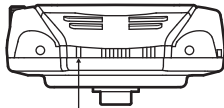
電源をいれる（電源／アラーム切替えスイッチの設定）

本機は、電源のON・OFFと（ブザー／メロディー）の切替えスイッチを兼用しています。

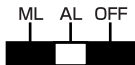
- 1** 本機の電源スイッチをオン（AL 又は ML のいずれか）にします。
※本機が起動すると、電源／受信感度ランプが点滅（シガー非接続時）又は、点灯（シガー接続時）し内蔵電池の状態を確認するため、バッテリーチェック音（P17）を出力します。



電源・アラーム（ブザー／メロディー）
切替えスイッチ



電源／受信感度ランプ[SENS]
(ランプ色についてはP20参照)



スイッチの位置	電源	警告音	キートーン
OFF	オフ	—	—
AL	オン	アラーム音（電子音）	ピポッ
ML	オン	メロディー	ポピッ

⚠ 注意 LSC-Vスイッチ（P17）が“1”になっていると電源／受信感度ランプが3回点滅表示してしまうことがあります。そうした場合には“2”又は“3”にスイッチを切替えてください。

オートパワーオフ機能について

本機は、内蔵電池の消費電力を抑えるため振動センサーを利用して、振動が無い状態が3分間続いた場合、電源を自動的にオフするオートパワーオフ機能を採用しています。

使用方法（各スイッチの設定方法）

LSC-Vスイッチの設定

LSC機能とは

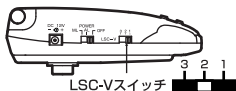
LSC機能とはロー・スピード・キャンセルの略称で車の走行振動を利用して駐・停車時の不要な警告音を自動的にカットします。LSC-V（振動調整用）スイッチで調整します。

LSC-V機能を使用する。

1 エンジンアイドリング状態で本機の電源をONにします。

2 LSC-Vスイッチを電源／受信感度ランプの3回点滅するところに合わせます。
(LSC-Vの振動感度は 1…鈍感 2…中 3…敏感 としてあります。)

走行時、30~40Km/h以上で電源／受信感度ランプが点滅（シガー非接続時）又は点灯（シガー接続時）していれば設定完了です。LSC機能作動時はミュートランプが点滅（非シガー接続時）又は、点灯（シガー接続時）し、電源／受信感度ランプが3回点滅を繰り返します。



LSC-Vスイッチ	振動検出感度	車種タイプ（目安）
1	低	ディーゼル（振動の大きい車種）
2	中	ガソリン／ディーゼル
3	高	ガソリン（振動の小さい車種）



※ ディーゼル車の場合アイドリング及び、走行中の識別が正常にできないことがあります。
このような場合は、停止（エンジン停止）後しばらくすると電源／受信感度ランプの点滅又は点灯が消えるように調整してください。

LSC機能を停止するには

LSC機能を停止させることで車の走行振動に関わらず、警報音を鳴らすことができます。（工場出荷時はONにしております。）
LSC機能をOFFにするにはP19「ファンクションスイッチ2の設定」を行ってください。

使用方法（各スイッチの設定方法）

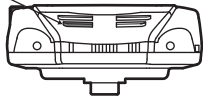
T/M/Bスイッチで音量の調節とバッテリー状態を確認する

— T（テスト） / M（ミュート） / B（バッテリーチェック） スイッチとは？ —
本製品がどのような警告をするのかを確認できるテストモードと、受信中の警告音を消すミュート機能とバッテリー状態を確認するバッテリーチェック機能を兼用したスイッチです。

テスト機能を使用する

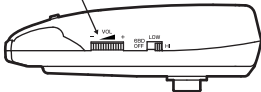
- 1** 本製品の電源をONになっていることを確かめてからT/M/Bスイッチを押します。

T/M/Bスイッチ



- 2** その間に音量ボリュームで適度な音量に調整してください。

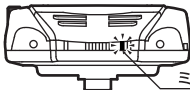
音量ボリューム



使用方法（各スイッチの設定方法）

ミュート（消音）機能を使用する

警報中、T/M/Bスイッチを押すと警告音を消音します。
ミュート状態は、その時受信している電波がなくなると自動的に待機状態に戻ります。
ミュート機能作動中はミュートランプを点灯（シガープラグ接続時）又は、
点滅（シガープラグ非接続時）します。



ミュートランプ（赤）点滅又は点灯

バッテリー状態を確認する

本機内蔵の電池充電状態が確認できます。

- 1 本機の電源がONになっている事確かめてからT/M/Bスイッチを長押しします。
充電状態が、レベルメーターで表示されます。（下図参照）

T/M/Bスイッチ



レベルメーターランプ ※1	内蔵バッテリー状態	バッテリーチェック音	対処
■ ■ ■ ■	80%以上	ピピピピピピ	充電良好
■ ■ ■ □	60%以上	ピピピ	充電良好
■ ■ □ □	40%以上	ブッブ	充電をおすすめします
■ □ □ □	20%以上	ブッブブブ	充電必要

※1 レベルメーターランプ □：消灯 ■：点灯

本機は内蔵電池が充電不足になると、コーナールンプが点滅しアラーム音が“ブッブブ”と鳴り続けてドライバーに充電が必要であることをお知らせします。

使用方法（各スイッチの設定方法）

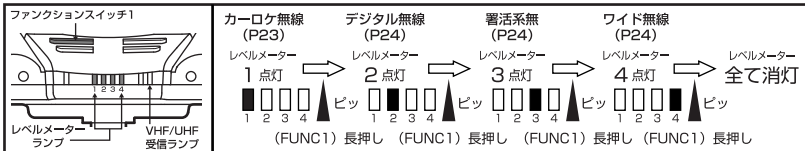
ファンクションスイッチ1（FUNC1）で各無線のON / OFF設定を行う

本機は、ファンクションスイッチ1（FUNC1）を長押しすることで下記の各無線のON / OFF設定をすることができます。（工場出荷時は全てONに設定）

1 電源がONになっていることを確かめてからファンクションスイッチ1（FUNC1）を2秒以上長押しします。“ピー”とアラーム音が鳴り、レベルメーターランプ1（カーロケ設定）とVHF/UHFランプが点灯します。

2 ファンクションスイッチ1を短く押すと“ピピッ”とアラーム音が鳴りVHF/UHF受信ランプが点滅します。ファンクションスイッチ1（FUNC1）を短く押す度にVHF/UHF受信ランプが点滅（ピピッ）→点灯（ピー）を繰り返します。再び、ファンクションスイッチ1（FUNC1）を長押しすると“ピッ”と鳴りレベルメーターランプ2灯目（デジタル無線設定）に移動します。設定を終了するにはファンクションスイッチ1（FUNC1）の長押しを繰り返し、レベルメーターランプが全部消灯するまで行います。

⚠ 注 約30秒間、何もスイッチを押さないか“FUNC 1”以外のスイッチを押すと、“ピピッ”と鳴り自動的に終了します。
※“FUNC1”スイッチを押す度に“ピッ”と鳴ります。（本書説明では省略します。）



VHF/UHF受信ランプ（赤）点灯・・・ONに設定（ピー）

VHF/UHF受信ランプ（赤）点滅・・・OFFに設定（ピピッ）

使用方法（各スイッチの設定方法）

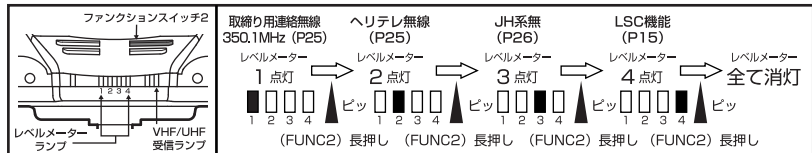
ファンクションスイッチ2（FUNC2）で各無線及びLSC機能のON / OFF設定を行う

本機は、ファンクションスイッチ2（FUNC2）を長押しすることで下記の各無線及びLSC機能のON / OFF設定をすることができます。（工場出荷時は全てONに設定）

1 電源がONになっていることを確かめてからファンクションスイッチ2（FUNC2）を2秒以上長押しします。“ピー”とアラーム音が鳴り、レベルメーターランプ1（350.1MHz設定）とVHF/UHFランプが点灯します。

2 ファンクションスイッチ2を短く押すと“ピピッ”とアラーム音が鳴りVHF/UHF受信ランプが点滅します。ファンクションスイッチ2（FUNC2）を短く押す度にVHF/UHF受信ランプが点滅（ピピッ）→点灯（ピー）を繰り返します。再び、ファンクションスイッチ2（FUNC2）を長押しすると“ピッ”と鳴りレベルメーターランプ2灯目（ヘリテレ無線設定）に移動します。設定を終了するにはファンクションスイッチ2（FUNC2）の長押しを繰り返し、レベルメーターランプが全部消灯するまで行います。

! 注 約30秒間、何もスイッチを押さないか“FUNC 1”以外のスイッチを押すと、“ピピッ”と鳴り自動的に終了します。
※“FUNC 1”スイッチを押す度に“ピッ”と鳴ります。（本書説明では省略します。）



VHF/UHF受信ランプ（緑）点灯・・・ONに設定（ピー）

VHF/UHF受信ランプ（緑）点滅・・・OFFに設定（ピピッ）

使用方法（各スイッチの設定方法）

受信感度切替えスイッチ（ASC/SENS）の設定

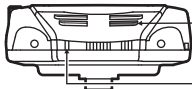
本機の受信感度設定は、マニュアル（手動）設定とオート（自動）設定のどちらかを選択することができます。

マニュアル（手動）感度設定のしかた

※工場出荷時は、オート感度（ASC-V）に設定

- 1 電源がONになっていることを確かめてから受信感度切替えスイッチ（ASC/SENS）を押します。“ビッ”とアラーム音が鳴り、電源/受信感度（SENS）ランプの色が切替わり点滅します。

- 2 最適な受信感度（右表）を選択します。



受信感度切替
スイッチ

電源/受信感度
（SENS）ランプ

終了するには最後に選択した受信感度でスイッチ操作を止めます。

受信感度ランプ発光色	受信感度	走行場所	走行状態
赤	L (LOWモード)	市街地	低速走行
橙	H (HIモード)	郊外	中速走行
緑	S+H (SUPER+HIモード)	高速道路	中・高速走行
青	HYPER (HYPERモード)	高速道路	高速走行

オート感度設定のしかた（ASC-V）

ASC-Vとは走行条件に合わせ自動的に受信感度を設定するオート・センシティブ・コントロールの略語です。本機は車の走行振動を利用しASC-Vを採用しています。

- 1 電源がONになっていることを確かめてから受信感度スイッチ（ASC/SENS）を長押しします。“ビッビッビッ”とアラーム音が鳴り電源/受信感度（SENS）ランプが、約3秒間ピンク色（2色のランプを使用しており、色が混ざったように見えますが故障ではありません。）に発光しオート（ASC機能）がはたらきます。

- ※マニュアル（手動）感度に戻したい場合はもう一度、受信感度スイッチを2秒以上押すと、“ビッビッ”と鳴りマニュアル（手動）に切替わります。
- ※バッテリー容量が無くなった場合、又は電源スイッチをOFFにした場合でもASC機能は保持されます。
- ※ASC機能が作動中はASC/SENSスイッチを短く押すと“ビッ”となるだけでマニュアル操作はできません。
- ※ASC/SENSスイッチを一度押す度に“ビッ”と鳴ります。（本書説明では省略します。）

使用方法（その他機能用語と電源起動アラームについて）

オートディマー機能

周囲の明るさによって自動的に警告ランプの明るさを調整します。
周囲が暗い場合、警告ランプの明るさを半減します。

オートボリュームダウン機能

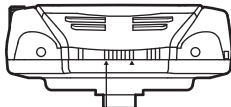
電波を受信した後、約15秒後に自動的に警告音をボリュームダウンします。

チャージサイン機能

本機は内蔵電池が充電不足になると、レベルメーターランプ1が点滅しアラーム音が30秒毎に“ブップブッ”と鳴り続けて、ドライバーに充電が必要であることをお知らせします。（P17参照）

電源・起動アラーム機能

本機は電源が起動時に内蔵電池の状態を確認するため、バッテリーチェック音（P17）を出力します。

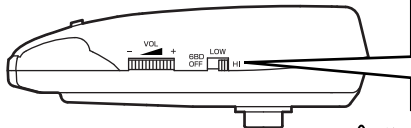


レベルメーターランプ 1

本機の受信方法

VHF/UHF無線受信感度切替えについて

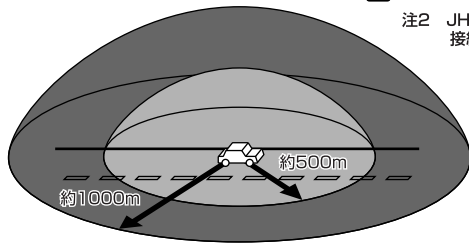
カーロケ無線、取締り連絡用無線（350.1MHz）、ヘリテレ無線、署活系無線、デジタル無線、JH無線、W.I.D.E（ワイド）無線の受信感度を2段階（HI-Low）切替えができます。



設定	受信感度
OFF	OFF
Low	約500m圏内
HI	約1000m圏内

⚠ 注1 OFFの場合は下記の受信機能がOFFになります。

注2 JH無線とヘリテレ無線はシガープラグを車輻に接続した状態のみ受信します。



受信感度切替え可能な無線

1. カーロケ無線
2. 取締り用連絡無線（350.1MHz）
3. ヘリテレ無線
4. 署活系無線
5. デジタル無線
6. JH無線
7. W.I.D.E（ワイド）無線

本機の受信方法

カーロケーターシステムとは・・・

正式名称を「無線自動車動態表示システム」と言い、緊急車両に装備されたGPS受信機より算出した位置データを無線で各本部の車輛管理センターへ送信するシステムです。本製品は緊急車両からの電波を受信し、警報を行い、緊急車両の走行を妨げないよう安全な回避を促します。



カーロケーターシステム装備車はGPSより算出した位置データをに車輛管理センターへ電波で送信しています。(注 右記※1参照)



本製品は各本部へ送信している電波を受信し、警報を行い、緊急車両の走行を妨げないよう安全な回避を促します。

※1

- 一部地域または、一部緊急車両には、カーロケーターシステムが装備されていない為、本製品では受信できない事があります。
- カーロケーターシステムは間欠で送信される為、実際の緊急車両の接近と受信タイミングにズレが生じる事があります。
- 緊急車両は走行状態（緊急走行、通常走行、駐停車）によって、電波の送信時間が変化する為、実際の緊急車両の接近と受信タイミングにズレが生じる事があります。
- 緊急車両がエンジン停止時は電波の送信を行わない為、本製品での受信はできません。
- 送信電波の中継局、受信本部近辺では緊急車両の接近に関わらず受信する事があります。
- 本製品が受信するカーロケーターシステムは、パトカー、覆面パトカーを中心に導入されており白バイ、救急車、消防自動車等には現在導入されておりませんが、将来的には導入する可能性があります。

・警報の仕方についてはP29「カーロケ/デジタル/ワイド無線の遠近識別警報について」をご覧ください。

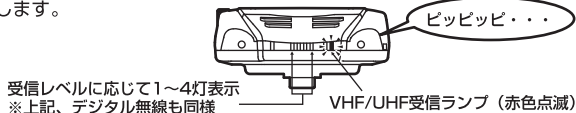
本機の受信方法

デジタル無線受信による警報

各警察本部と移動局（緊急車輛等）とが行う無線交信で、159MHz～160MHz帯で約53chの電波を受信します。通話内容がコード化（デジタル化）されており通話内容を聞く事はできませんが、アラームで警報を行い、付近を走行する緊急車輛の走行を妨げないよう安全な回避を促します。警報のしかたについてはP27「カーロケ／デジタル無線の遠近識別警報について」をご覧ください。

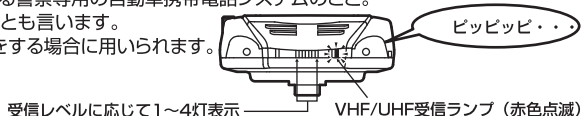
署活系無線受信による警報

パトロール中の警察官が警察本部や他の警察官との連絡用として使用している無線交信で約134chの電波を送信します。



W.I.D.E（ワイド）無線受信による警報

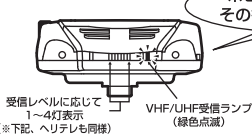
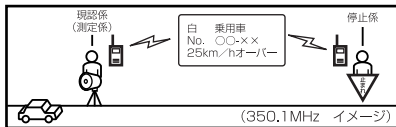
Wireless Integrated Digital Equipment の略称。
350MHz帯を使用している警察専用の自動車携帯電話システムのこと。
移動警察電話（移動警電）とも言います。
県の管轄をまたいで通信をする場合に用いられます。



本機の受信方法

取締り用連絡無線（350.1MHz）受信による警報

取締り用連絡無線で使用する周波数帯で、速度違反取締りやシートベルト装着義務違反取締り等で使用することがあります。また、通話内容をコード化したデジタル無線方式を使用するケースもあり、音声受信できない場合もあります。



ヘリテレ無線受信による警報

「ヘリコプター画像伝送システム連絡用無線」の略称で警察所属のヘリコプターから全国にある無線中継所に送信される無線通信のことです。主に事件・事故等の情報収集、取締り等の時に上空と地上とで連絡を取るために使われています。本製品は警察所属のヘリコプターから無線中継所間の電波を受信し、音声とアラームで警報を行い、事件・事故等の情報を事前に知る事ができ安全な回避を促します。

⚠ 注意

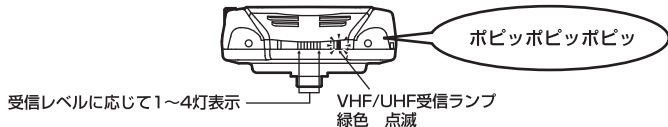
- 一部地域または、一部ヘリコプターにはヘリテレ無線が装備されていない為、本製品では受信できないことがあります。
- ヘリテレ無線はヘリコプターが電波を送信した時のみ受信することができます。
- 送信電波の中継所周辺ではヘリコプターの接近に関わらず受信することがあります。
- ヘリテレ無線はシガープラグを車輛に接続した状態でなければ受信しません。



本機の受信方法

JH無線受信による警報

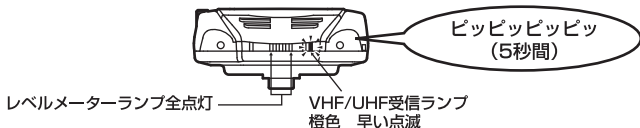
JH(日本道路公団)の使用している業務連絡無線です。おもに渋滞や工事事故情報等でパトロール車輜と本部との連絡に使用します。



⚠ 注意 JH無線はシガープラグを車輜に接続した状態でないと受信しません。

パトロールエリア警報

一定時間にカーロケ等の電波を連続で受信することで、取締り(検問等)が行われている可能性が高いことをお知らせし事前に情報を知る事ができ、安全な回避を促します。

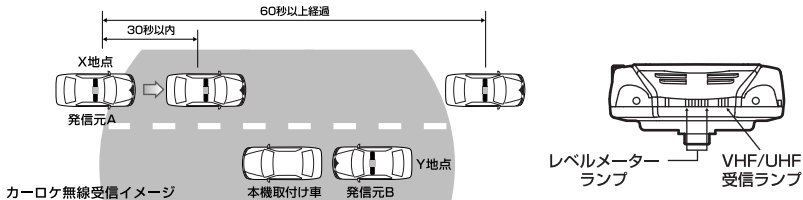


⚠ 注意 パトロールエリアで必ず取締りが行われているとは限りません。

本機の受信方法

カーロケ/デジタル/ワイド無線遠近識別警報について

カーロケ無線又はデジタル無線の受信電波の状況によって遠近識別警報を行います。



	カーロケ/デジタル/ワイド無線受信状況	アラーム内容	レベルメーターランプ 表示内容	VHF/UHF 受信ランプ (赤)
遠 方	本機が遠く (X地点) の発信元Aのカーロケ/ デジタル/ワイド無線のいずれかを受信すると	ピッピッ… (遅いテンポ 3回)	1灯又は2灯表示	遅い点滅 (10秒間)
近 辺	本機が近く (Y地点) の発信元Bのカーロケ/ デジタル/ワイド無線のいずれかを受信すると	ピッピッ・… (早いテンポ 3回)	3灯又は4灯表示	早い点滅 (10秒間)
接 近	本機が発信元Aの最初の受信を行ってから約30秒 以内に前回より強いカーロケ/デジタル/ワイド無線 のいずれかを再び受信すると	ビービービー (早いテンポ 3回)	最初に受信した電源強さより 上のレベルランプ表示	早い点滅 (10秒間)
回 避	カーロケ無線のみ本機が発信元Aの最初の受信を 行ってから約60秒以上経過しても受信しないと	ピッピッピ	□ □ □ □	遅い点滅 (10秒間)

本機の受信方法

本機の受信方法

レーダー式取締り機 迄の距離 (電波の強さ)					
レベルメーターランプ (緑)				レベルメーターランプ	
コーナールンプ				コーナールンプ	
アラーム音	電源 受信感度 ランプ	LOW (赤)			電源/受信感度ランプ
	HI (橙)				
	SUPER-HI (緑)				
	HYPER (青)				
ステルス受信した場合		コーナールンプ、VHF/UHF受信ランプ	交互点滅		
		レベルメーターランプ (緑)		点滅	
		警報音	AL ピピピピ・・・ ML ♪		

本機の受信方法（VHF/UHF無線を受信した場合）

無線名称		警報音	レベルメーター ランプ※1	VHF/UHF 受信ランプ色	機能詳細 説明ページ	
デジタル系	カーロケ デジタル無線 W.I.D.E（ワイド）無線	遠方	ビッピッ・・・ （遅いテンポ 3回）	1灯又は2灯表示	赤色 遅い点滅 （10秒間）	P23 P24 P27
		近辺	ビッピッ・・・ （早いテンポ 3回）	3灯又は4灯表示	赤色 早い点滅 （10秒間）	
		接近	ビービービー・・・	最初に受信した電源強さより 上のレベルランプ表示	赤色 早い点滅 （10秒間）	
		回避	ビッピッビー	□ □ □ □	赤色 遅い点滅 （10秒間）	
	署活系	ビッピッ・・・ （遅いテンポ 3回）	1～4灯のいずれか表示	赤色 早い点滅 （10秒間）	P24	
アナログ系 ※2	取締り用連絡無線 （350.1MHz）	ポビッポビッポビッ その後、音声出力	1～4灯のいずれか表示	緑色 早い点滅 （10秒間）	P25	
	ヘリテレ無線					
	JH無線	ポビッポビッポビッ	1～4灯のいずれか表示	緑色 早い点滅	P26	
パトロールエリア		ビッピッピッ・・・（5秒間）	■ ■ ■ ■	橙色 早い点滅	P26	

※1 レベルメーターランプ □：消灯 ■：点灯

※2 一部の地域ではデジタルを使用しています。音声出力はノイズで出力されます。

レーダーまめ知識 (シガープラグパワーコネク機能)

シガープラグパワーコネク機能

付属のシガープラグコードを車輻に接続すると、下記の無線の受信性能が非接続時に比べ、パワーアップします。＊工場出荷時は、全てON(警報する)に設定

	シガープラグコード接続時	ソーラーバッテリー動作 (シガープラグ非接続時)
カーロケ無線	警報する	警報する
デジタル無線		
署活系無線		
W.I.D.E(ワイド)無線		
取締り用連絡無線(350.1MHz)		
ヘリテレ無線 JH無線	警報する	警報しない

電池交換について

内蔵電池は、使用状況・使用環境にもよりますがおおむね2~3年が目安となります。内蔵電池の寿命に満たない前に電池容量が低下する事がありますが、その場合は、一度完全放電させてからフル充電すると性能が回復することがあります。それでも充電しても低下するようになりましたら、本機をお買い上げの販売店で本機の電池交換受付けをお願い致します。ご不明な点がございましたら、弊社サービス部(0561)36-5654までご連絡ください。

レーダーまめ知識

このページでは一般に知られているいろいろな取締り機についての説明をします。

本機で受信可能な取締り電波（周波数）の種類

Xバンド

現在行われているレーダー式取締り機の周波数はXバンド（10.525GHz）を使用しています。

Kバンド



現在、国内ではKバンドの取締りは行われていませんが、米国ですでに使用されています。（24.200GHz）近い将来この周波数を用いた取締りが行われる可能性があります。

取締り方法の種類

■ レーダー式（本機で受信可能）

ステルス型

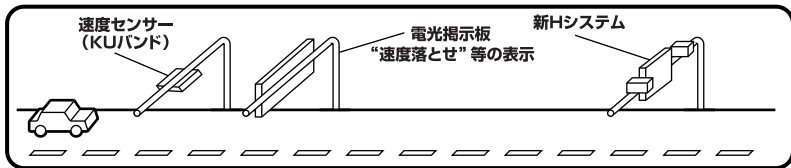
警察官がリモコンで装置をコントロールして電波を出します。至近距離まで取締り電波の発信を抑える“狙い撃ち”的方法ではレーダー受信機の反応は極端に遅れ70～100メートル地点（計測範囲内）でいきなり受信したり、また受信できないケースも想定されますので特に先頭を走行する際は、注意が必要です。

ステルス形状	ステルス形式
	三菱電機 RS-720DR型
	JRC（新日本無線） JMA-230型

レーダーまめ知識

新Hシステム

CCDカメラで違反車両のナンバー及び運転者を同時に撮影し専用回線を介して警察本部の大型コンピュータに送られます。受信距離は500m前後が一般的ですが電波の分布(間欠発信)の関係で連続音はやや遅くなります。本機はステルス・新Hシステムに対応できるように設計されています。



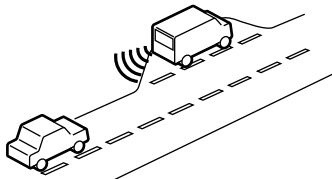
レーダーまめ知識

パトカー車載式

パトカーの赤色灯部分を一部改良して取締り装置を載せたもので、主に高速走行中に後方から取締ることが多い。レーダー出力が強いため500メートル以上からでも受信できます。

移動オービス式

ワンボックス後部にオービスレーダー式、光電管式(本機で受信しません)装置を搭載しています。



レーダーまめ知識

レーダー式以外 (注.本機は反応しません。)

ループコイル式

設置式オービスの一種で、車両測定を道路下や中央分離帯等に埋め込まれた金属探知機によって車両が通過する際
の速度を測定する方式です。この取締りは電波をださない為本機は反応しません。設置式オービスの場合は事前に
表示板がでている事が多いので、見落とさないよう注意が必要です。

LHシステム式

速度計測部がループコイル方式で、違反車輛の写真撮影がHシステム方式の取締り機です。この取締りも電波をだ
さない為本機は反応しませんが事前に表示板がでている事が多いので、見落とさないよう注意が必要です。

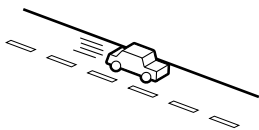
光電管式

昔のワイヤー式を進歩させた取締りで、道路上2点間に置かれたセンサーを車両が通過する際の速度を測定し
ます。この取締りも電波は使用しない為本機では反応しません、しばしば連絡に350.1MHzの警察無線を使用している様
です。

取締りレーダー波を受信困難な場合

走行中、環境等の条件によっては取締りレーダー波を受信しにくい場合があります。

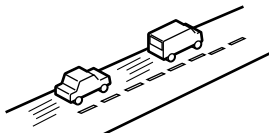
[下り坂]



[曲がった道]



[前に車が走行している場合]



故障かな？と思ったら

次のような場合は、故障でない事がありますので、修理を依頼される前にもう一度お調べください。

動作しない

- 本機のスイッチが「OFF」になっていませんか？ → 14ページ参照
- 内蔵電池の残量がなくなっていますか？ → 17ページ
21ページ (チャージサイン機能) 参照
- LSC-Vスイッチの感度設定が間違っていますか？ → 15ページ参照

警告音が鳴らない

- 音量ボリュームを低く調整していませんか？ → 16ページ参照
- LSC機能がはたらいていませんか？ → 15、19ページ参照

警告音が鳴りつづける

- 内蔵電池の残量がなくなっていますか？ → 17ページ
21ページ (チャージサイン機能) 参照

ディスプレイモードについて（販売店向け機能）

本機の一連の動きをデモンストレーションします。
本機をディスプレイとして展示する場合に設定を行ってください。

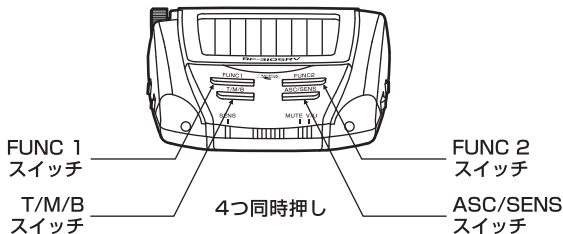
1 シガープラグコードを本機に接続します。

2 本機を電源オフの状態にします。

3 本機"FUNC 1"スイッチ、"FUNC 2"スイッチ、"T/M/B"スイッチ、"ASC/SENS"スイッチを4つ同時押ししたままの状態、電源スイッチ（AL,MLどちらでも良い）をいれます。

※上記、同じ操作を行うと解除します。

※シガープラグコードを接続しない状態で、
上記操作を行うと本機は動作停止状態となります。



仕様

電源電圧	3.6V (高容量ニッケル水素電池)
電池容量	300mAh
充電入力電圧	D.C 12V
消費電流	待機時 0.1mA以下 (無振動時) 最大時 150mA以下 (DC使用時) / 100mA以下 (ソーラーのみ)
受信周波数	Xバンド (10.525GHz) Kバンド (24.200GHz) カーロケータシステム (407MHz帯) 取締り連絡用無線 (350.1MHz) ヘリテレ無線 (340MHz帯5ch) 署活系無線 (347~348MHz帯, 361~362MHz帯134ch) デジタル無線 (159~160MHz帯53ch) JH無線 (383MHz帯4ch) W.I.D.E無線 (336~338MHz帯46ch)
受信方式	ダブルスーパーヘテロダイン
検波方式	FMトラッキングタイムカウント方式
動作温度範囲	-10°C~+60°C -5°C~+80°C (充電時)
本体寸法	W76 × L103 × H28 / mm (突起部除く)
重量	127g